

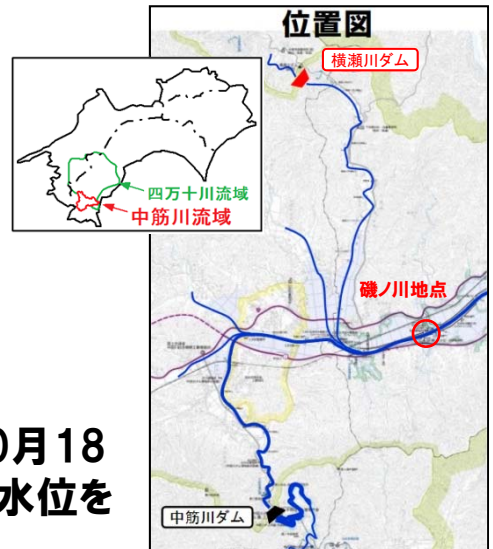
# 中筋川ダムにより河川水位を低減 ～平成29年10月台風21号における速報～

**213mm(時間最大14mm)の雨**

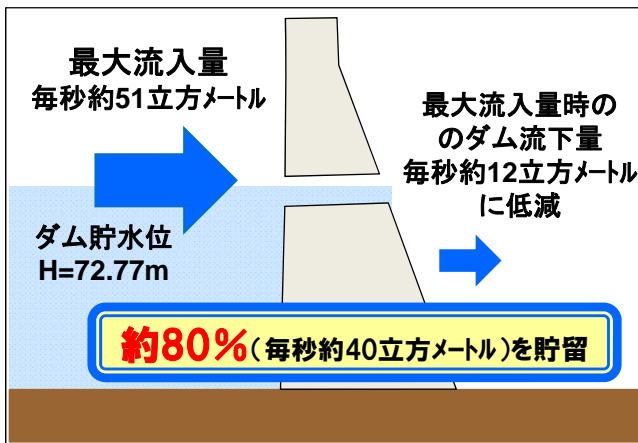
中筋川ダム上流域において、10月19日17時～10月22日21時にかけて **累計約213mm(時間最大約14mm)**の降雨となりました。

**洪水貯留準備操作により中筋川ダムの貯水位を約2.7m低下**

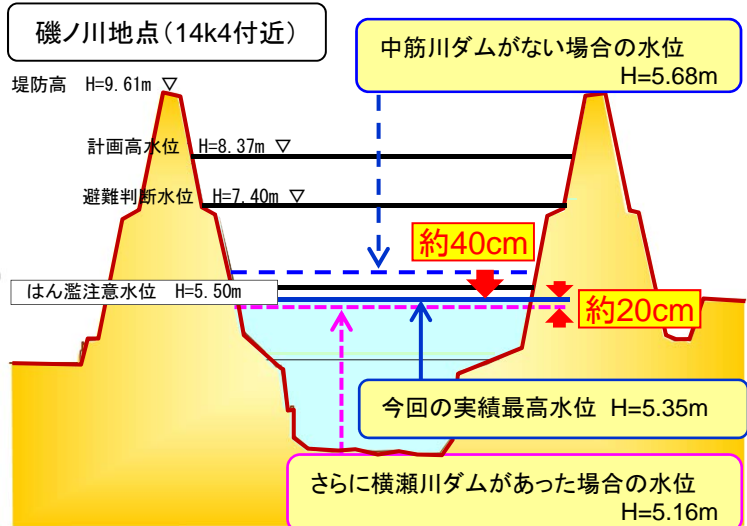
**洪水を貯留する容量を増やすため**、平成29年10月18日14時30分から洪水貯留準備操作を行って貯水位をH=72.27mから**約2.7m低下**させました。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したもの(承認番号 平23四複、第84号)を一部転記したものである。



中筋川ダムの防災操作状況  
(10月22日13時10分)



※上記(H:量水標)の値に0.577mを加えた値が標高(m)となります。

**中筋川ダムにより約80%を貯留**

中筋川ダムへの最大流入量**毎秒約51立方メートルの約80%を貯留**し、ダム流下量を**毎秒約12立方メートルに低減**しました。

**中筋川ダムにより河川水位を約40cm低減**

中筋川ダムの防災操作により、**磯ノ川地点で約40cm水位を低減**させました。

建設中の横瀬川ダムが完成していた場合は、**更に約20cmの水位低減効果が期待**できます。



磯ノ川地点(10月22日13時10分撮影)

※本資料の数値等は推定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

# 中筋川ダムにより河川水位を低減 ～平成29年10月台風21号における速報～

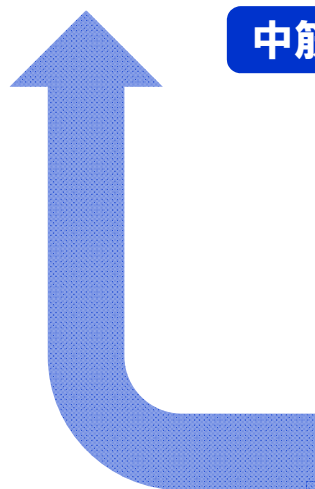
中筋川ダムの防災操作後の貯水位 H=74.82m

(10月23日11時00分)



※1,461千m<sup>3</sup>は10/22  
の2:00～24:00に貯留  
した水の量です

中筋川ダムの防災操作前の貯水位 H=70.61m



(10月22日9時00分)